

安定ヨウ素剤についてのQ & A

このパンフレットは、安定ヨウ素剤に関してQ & A形式で説明しているものです。

よくお読みいただき、適切な取扱い等をお願いします。

【重要】

☆安定ヨウ素剤は、原子力施設で重大な事故が起こった時に、国からの服用の指示を県や市町がお知らせした場合にのみ服用してください。

☆安定ヨウ素剤の服用で副作用が生じる可能性は極めて低く、服用の指示があった場合は、躊躇することなく服用してください。

☆安定ヨウ素剤の配布時に一緒にお渡しする説明資料をお読みください。

Q1 安定ヨウ素剤とはどのようなものですか？

安定ヨウ素剤は、放射性でないヨウ素を内服用に製剤化したもので、主成分はヨウ化カリウムです。

現在、放射性ヨウ素からの甲状腺の内部被ばくを予防・低減するための医薬品として国内で承認されている安定ヨウ素剤には、丸剤、ゼリー剤、粉末剤があります。

丸剤は、3歳以上の方、ゼリー剤は、3歳未満の乳幼児が服用するほか、丸剤の服用が困難な方に対しても用いられます。

粉末剤は、3歳未満の乳幼児の他、丸剤服用が困難な方を対象に、液状の安定ヨウ素剤を調製するためのものですが、備蓄はゼリー剤に切り替えています。

Q2 放射性ヨウ素とはどのようなものですか？

ヨウ素には、放射線を出すヨウ素と放射線を出さないヨウ素とがあります。

放射性ヨウ素は、核分裂が起こる際に生じる物質の一つで、原子力発電では燃料棒中に封じ込まれていますが、燃料棒の破損や溶融が起こると、大気中に放出される恐れがあります。

放射性ヨウ素は、人体に取り込まれると、甲状腺に選択的に集積し、それが出す放射線の影響により、数年～数十年後に甲状腺がん等を発症させる可能性があります。

Q3 安定ヨウ素剤はどのように働くのですか？

甲状腺は、安定ヨウ素も放射性ヨウ素も同じように取り込みます。安定ヨウ素剤を服用すると、その後(約24時間)、体内に入った放射性ヨウ素の甲状腺への取り込みを抑制します。

Q4 安定ヨウ素剤の替わりになるものはありますか？

昆布やわかめなどの海藻などには、ヨウ素が含まれています。しかし、含まれているヨウ素の量が一定ではなくばらつきがありますので、安定ヨウ素剤の替わりとしては不適當です。

Q5 安定ヨウ素剤の効果が及ばない範囲はありますか？

安定ヨウ素剤は、すべての放射性物質による内部被ばくを予防する万能薬ではなく、放射性ヨウ素による甲状腺への被ばくを低減する効果しかありません。

放射性ヨウ素以外の、他の放射性核種による被ばくを抑えることはできません。

また、安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素が体内に取り込まれること自体を防ぐことはできず、放射性ヨウ素により甲状腺に生じた障害を元へ戻すことはできません。

Q6 安定ヨウ素剤を効果的に利用するにはどうしたら良いですか？

放射性ヨウ素を体内に取り込みそうな時、事前に安定ヨウ素剤を服用すると最大の防護効果があります。

放射性ヨウ素を体内に取り込んだ後では、数時間以内のできるだけ早い時期に服用すれば、効果はありますが限定的です。

安定ヨウ素剤の服用時期と効果については、「放射性ヨウ素に曝露する24時間前」に服用した場合は90%の抑制効果があり、「放射性ヨウ素に曝露した8時間後」では40%、「放射性ヨウ素に曝露した16時間以降」ではその効果はほとんどないとされています。

また、放射性ヨウ素が環境中に存在しない場合には、安定ヨウ素剤を服用しても全く防護効果はありません。

このため、国や地方公共団体の服用指示にしたがって服用するようにしてください。

Q7 誰が安定ヨウ素剤を服用するのですか？

服用の判断は最終的には各個人に帰属しますが、服用の必要性は国が判断します。

服用してはいけない方を除いて、すべての方々が国や地方公共団体からの服用指示があった場合に服用していただくことが基本です。

特に、放射性ヨウ素による甲状腺被ばくに対して、胎児や子供たちは成人よりも発がん影響への感受性が高いことが知られており、子供たちは優先的に安定ヨウ素剤を服用すべきです。

また、ヨウ素は胎盤を通過するため、胎児を防護するためにも、妊娠している方は安定ヨウ素剤を服用することを薦めます。ただし、服用量は、規定量を守ってください。

WHOガイドラインで、40歳以上の方への安定ヨウ素剤の服用効果はほとんど期待できないとされていることから、令和元年7月の原子力災害対策指針改正において、事前配布の対象者は、原則として40歳未満の者とすることが適当であるとされました。しかし、40歳以上でも、妊婦、授乳婦、拳児希望の女性は配布対象であり、また、40歳以上の方であっても、希望者には配布することができるとされました。

ただし、一時的な甲状腺機能低下等の副作用が生じる可能性は年齢が上がるとともに増加するとの報告もあり、こうした副作用と年齢の関係も服用される方に理解いただくことが重要です。

以上を参考にして、服用量「Q11」を守って服用してください。

Q8 安定ヨウ素剤を服用できない人は誰ですか？

安定ヨウ素剤を服用してはいけない方、または、慎重に服用する必要のある方は、以下のとおりです。

服用してはいけない方

安定ヨウ素剤の成分、または、ヨウ素に対し、過敏症の既往歴のある方（ヨウ化カリウム丸服用後、または、「ポビドンヨード液」（うがい薬に含まれます）や「ルゴール液」使用後にじんま疹や呼吸困難や血圧低下などのアレルギー反応を経験した方）

慎重に服用する必要のある方

- ・ヨード造影剤過敏症と言われたことのある方
（ヨード造影剤の過敏症の既往歴のある方は、安定ヨウ素剤の成分に過敏症である可能性がありますので、服用しないほうがよいと考えられます。）
- ・甲状腺機能亢進症と言われたことのある方
- ・甲状腺機能低下症と言われたことのある方
- ・腎機能障害と言われたことのある方
- ・先天性筋強直症と言われたことのある方
- ・高カリウム血症と言われたことのある方
- ・肺結核の患者と言われたことのある方
- ・低補体血症性蕁麻疹様血管炎と言われたことのある方
- ・ジューリング疱疹状皮膚炎と言われたことのある方

また、下記の薬を服用している場合には安定ヨウ素剤と相互作用を起さず可能性があります。

- ・カリウム含有製剤（カリウム補給）
- ・リチウム製剤（双極性障害（躁うつ病）治療）

- ・抗甲状腺薬
- ・高血圧治療薬のうち以下の種類のいずれか

アンギオテンシンⅡ受容体拮抗剤(ARB)、カリウム貯留性利尿剤、
配合降圧剤、ACE阻害剤

上記に当てはまる方、また、上記に当てはまらなくとも、ご不審、ご不明がある場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

Q9 安定ヨウ素剤の服用時にはどんな点に注意する必要がありますか？

- ・ 国の服用指示により、県や市町からのお知らせがあった時にのみ、服用してください。
- ・ 定められた規定量の安定ヨウ素剤を服用してください。
 - 規定量以上に服用することは避けてください。
- ・ 事前配布地域の方で避難時に安定ヨウ素剤が見つからない場合には、避難を優先してください。避難の際に地方公共団体の方から追加配布を受けて服用するようにしてください。
- ・ 新生児、妊娠している方、または、その可能性のある女性は、原則として複数回の服用を避けてください。しかし、状況によっては複数回の服用が必要となる可能性もあります。国や県市町から指示があった時には服用してください。
- ・ 妊娠している方、授乳中の方、新生児が安定ヨウ素剤を服用した場合には、新生児の服用後の安定ヨウ素剤による影響の観察などが必要になりますので、医師や薬剤師、あるいは所定の相談窓口まで相談ください。

Q10 安定ヨウ素剤の副作用にはどのようなものがありますか？

安定ヨウ素剤は、緊急時に服用するものですが、副作用の可能性あることを理解してください。

副作用として、一般的な過敏症(発疹など)のほか、続けて服用するとあわわれることがあるものとして、消化器系(悪心・嘔吐、胃痛、下痢、口腔・咽喉の灼熱感、金属味覚、歯痛、歯肉痛、血便(消化管出血)など)、その他の症状(甲状腺機能低下症、頭痛、息切れ、かぜ症状、不規則性心拍、皮疹、原因不明の発熱、首・咽喉の腫脹など)が報告されています。

ただし、安定ヨウ素剤の服用で副作用が生じる可能性は極めて低く、服用指示が出た際に、服用を優先すべき対象者である妊婦、授乳婦、乳幼児を含む未成年者はちゅうちょすることなく服用してください。

Q11 安定ヨウ素剤はどのぐらい服用するのですか？

13歳以上は丸剤2丸、3歳以上13歳未満は丸剤1丸、生後1か月以上3歳未満はゼリー剤(32.5mg含有)1包、生後1か月未満はゼリー剤(32.5mg含有)1/2包、または、ゼリー剤(16.3mg含有)1包を経口服用してください。

Q12 安定ヨウ素剤はいつ服用するのですか？

安定ヨウ素剤の服用は、国が指示を出し、県や市町がその情報をお知らせします。

服用のタイミングは、安定ヨウ素剤を効果的に利用するためには大変重要ですので、その指示に従って服用してください。

Q13 安定ヨウ素剤の服用によって副作用が発生した時はどうすれば良いですか？

アナフィラキシーショックを含む急性のアレルギー反応は極めてまれですが、痒み、じんましん、浮腫、激しい腰痛、呼吸困難、血圧低下等の症状が出た場合には、医療機関に救急要請を行う等により適切な処置を受けてください。

1回の服用であり、これらの症状がなければ、その他の副作用に関する

処置、検査等の必要はありません。

新生児が服用した場合の甲状腺機能低下症については、血液検査等により確認できます。

Q14 安定ヨウ素剤は繰り返して服用することができますか？

安定ヨウ素剤の服用回数は、原則1回としています。

1回の服用により、概ね24時間の効果がありますので、その間に自治体が指定する避難所に避難することが基本です。

ただし、再度の服用がやむを得ないと原子力規制委員会が判断し、その判断に基づいて、原子力災害対策本部または地方公共団体からの指示があった場合にのみ、24時間の間隔を空けて服用することとなっています。

Q15 安定ヨウ素剤はどのようにして手に入れますか？

PAZ域にお住まいの方々は、地方公共団体が開催する説明会に参加して、医師の説明内容を充分理解していただく必要があります。

内容をご確認いただき、また、いくつかのご質問にお答えいただいた後で、安定ヨウ素剤をお渡しします。その際、受領書に署名していただきます。

歩行困難である等のやむを得ない事情により説明が受けられない方については、説明会に参加した家族や公共施設等に出向いた家族等による代理受領が可能です。

ただし、代理受領に来られた家族等の方々は、その依頼をした方に資料を手渡し、説明内容を伝達することを理解して、受領書を記入・提出していただく必要があります。

なお、配布された安定ヨウ素剤は、他人へ譲渡しないでください。

また、転出、死亡等により、安定ヨウ素剤が不要になった場合には、各自

で捨てずに市町役場で転出等の手続きを行う際に返却してください。

3歳未満の乳幼児が3歳に達した場合は、ゼリー剤を丸剤に切り替えま
す。また、13歳に達した場合は、追加分の安定ヨウ素剤を配布します。

UPZ域にお住まいの方々には、避難が必要になった時点で緊急時の配
布場所等で地方公共団体の職員がお渡しします。

Q16 安定ヨウ素剤はどのように保管すれば良いですか？

安定ヨウ素剤は、直射日光のあたらない、湿気の少ない所に、室温(1～
30℃)で保管してください。

また、温度が高い場所(夏の車中、火元の近くなど)に長期間放置するこ
とは避けてください。

さらに、「薬箱のように用途が明確で覚えやすい場所に保管する」、「非常
時に必ず持ち出す防災袋に他の災害時用品と一緒に入れる」といった、な
くさないための工夫をしていただくことも有効です。

Q17 安定ヨウ素剤に有効期限はありますか？

安定ヨウ素剤の有効期限は、丸剤は5年、ゼリー剤は3年です。

このため、配布した薬剤の交換時期が近づいた時点で、自治体から交換
についての案内をさせていただきますので、案内に従って、新しい薬剤と交
換いたします。

配布された薬剤で期限が切れたものは、自治体が回収しますので、各自
で捨てたり、そのまま保持しないでください。